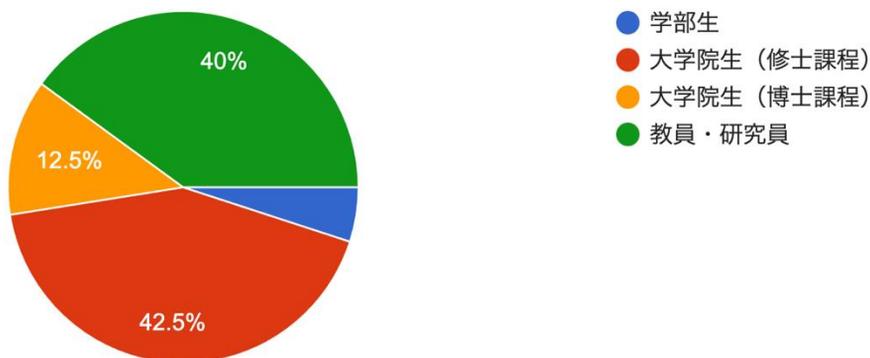


アシンメトリ量子若手秋の学校2024@大雪青少年交流の家

アンケート調査結果（回答者数40名）

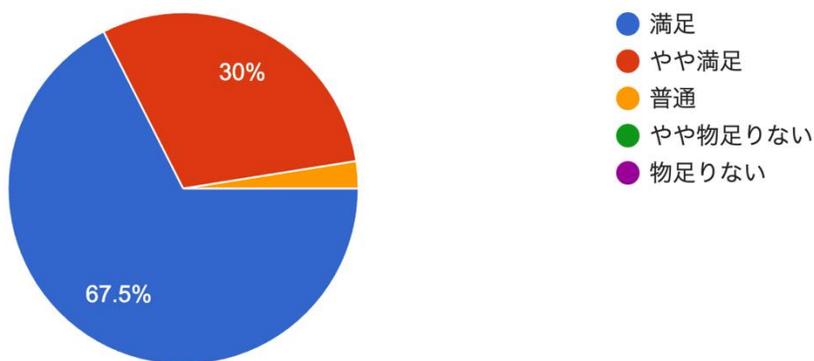
学年，職位・学位等を教えてください。

40件の回答



今回の若手秋の学校の「内容」について満足度を教えてください。

40件の回答



今回の若手秋の学校の「内容」についてご意見をご記入ください。（自由記載）

【難易度】

- もう少し基礎的な内容から講義してほしかった。
- 自分がまだB4で、講義を聴くのに必要な知識や経験が足りていなかったの、ほとんど理解出来なかった。しかし、今後の研究活動において役立つような内容だと感じた。
- 専門外の内容に触れることができ勉強になりましたが、修士課程の段階ではあまり理解できませんでした。
- 自分(ポスドク)にとって、講義の難易度も分量も丁度よかったです。また、理論と実験の講師の比率も丁度よかったです。
- 難しかったです。
- 内容は難しく感じ、自分の物理の理解の浅さを痛感するものだった。
- 難しかったが、学べることが多く、充実していた。

【講義形態】

- 様々な分野の基礎からの講義があり大変有意義で、質問が盛んに飛び交ったことも活発な学校の様子を表していたと思う。一方で、ほとんどの講義が最先端の話題に入りかけたあたりで終わってしまうというのは難点だったと思う。基礎的な内容に対して質問が多くあるのは良いことなので、講師一人辺りの講義時間がもう少しあればよかったと思う。可能なら扱うテーマや講師の数は減らさずに開催日数が伸びれば良いと思う。
- 教材が非常に良かった。一方で、授業自体は質問対応などに時間が取られて不完全燃焼で終わった感じがあった。
- 自由闊達な学びの場で、今更聞きにくいことも質問できたので良かった
- 講義を聞いてその場で質問を答えていただけるシステムがすごく良かったです。
- 講義時間が不足していた。学生の研究発表があるとよかった。
- 学生対象なので、基礎に重きをおいてもらったため、「応用編」に差し掛かったところでタイムアップであったことが多かったように思います。全ての内容が集中講義8コマ分くらいに相当する内容でしたので、そもそも1-2時間で網羅するのは無理ですから、仕方ないのだと思います。夏の学校ミニのように、講師数を絞って、長時間に渡ってみっちりやる合宿型のイベントがあっても良いかもしれません。（もしくは、「補習、アシンメトリ秋の学校：応用編」だけ別途動画撮影して、後日配信し、当日伝えられなかった最先端の結果をご紹介いただくというアイデアも。）
- 今回の講義はオムニバス形式で、理論・実験の両面から様々な話を聞くことができ非常に面白かった。別の形式として、例えば「交差応答」など、トピックを絞って、それに関連する話題について集中的に学ぶようなものもあればよいと思った。
- 講義と質問の時間が1人の講師あたりもう少し欲しかった。
- 講義に関しては、時間が足りなくて発展的な内容を詳しく聞くことができなかつたことが少し残念ですが、異なる専門の方が集まって知識の幅を広げるという意味では、かなり充実していたので大満足です。

今回の若手秋の学校の「内容」についてご意見をご記入ください。（自由記載）つづき

【講義内容】

- 理論の方のお話をもっと伺いたかったです。
- 分野に偏りがなく、大変よい内容でした。
- アシンメトリー量子の内容に限らず、幅広い範囲の講義があって助かった。
- 少し違う分野の話が多かったのでとても勉強になった。
- 自分は理論の人間なので、実験の話詳しく聞いたことは非常に有意義だった
- 理論研究の講義の割合がもう少し多くても良いと思う。
- 若手スクールという性質上やむを得ない部分もあるが、アシンメトリー量子で目指すものとの整合性については少し疑問点もあるのではないかと感じた。
- とてもバランスが取れていて良い内容だったと思います。
- 多極子の理論的な部分についてももう少し詳しく知りたかった。
- 基本的な内容が分かって良かったです。
- 参加する前は「多極子」に魅力を感じていなかったが、講師の方々の話を聞いて（特に石飛先生）、交差相関だけでなく、物性の発現に対して多極子を用いることで、不思議が説明できることに驚き、感動した。
- オリジナリティのある内容です。
- 様々な分野、手法について初歩的な部分からの丁寧な講義があり、とても勉強になりました。

【講師】

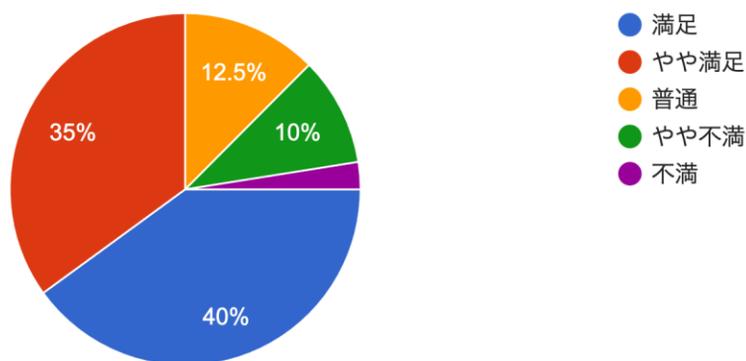
- 各講師とも非常に力の入った内容で勉強になった。
- 各先生方の講義内容がユニークで、各実験の専門家の講義を受けられたのは貴重でした。
- 講師陣も理論・実験双方で充実しており、参加者も質問を多く出しているように感じた。
- 若手の講師陣の熱意ある講義に感銘を受けました。学生からの質問が多かったことも、良かったと思います。これまで触れることがなかった内容も多くあり、とても勉強になりました。

【その他】

- とても充実しており楽しかったです。
- 仲も深まる、学びにもなる、とても楽しい4日間でした
- 非常に勉強になり、良い機会となった。
- 食事中に教員同士が固まらず、学生と交流した方が互いのためになると感じた。
- 特になし（2名）

今回の若手秋の学校の「開催場所と施設」について満足度を教えてください。

40件の回答

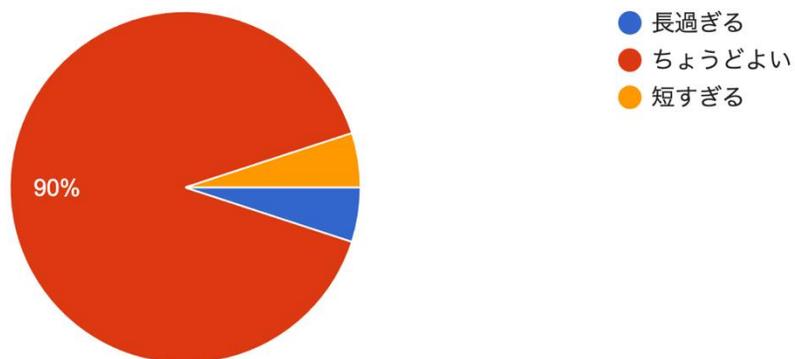


今回の若手秋の学校の「開催場所と施設」についてご意見があればご記入ください。（自由記載）

- 基本的に満足だが、朝方には気温一桁°Cの日があるなかエアコンを入れることができず寒さが厳しかった。10月からならエアコンを入れられるとのことだったので、高緯度の開催場所を考えても、今回の開催場所と施設特有の難点だったと思う。とはいえ、秋の学校での勉強に影響が出るほどのことではなかったと思う。
- 結果的には大丈夫でしたが、知らない人と4人部屋は一般に辛いです。100人程度を収容可能な会議室があるビジネスホテルもあるので、今後はそういった施設での開催をご検討されてはいかがでしょうか。
- 主に理論の講師向けかもしれないが、スクリーンだけでなく大きな黒板(またはホワイトボード)がある場所が用意できると良いと思った。
- タオル等を自分で用意しなければならなかったのが大変でした。
- 今回のように、物理学会(現地開催)と連続して若手秋の学校があると参加しやすいです。
- もう少しアクセスの良いところで開催していただけると、体調不良による途中帰宅も楽ですし、車酔い等の心配も少なくなるかと思います。
- 温泉が良かった
- 移動時間が長かった
- 寝室にwifiが届かないのが苦痛でした
- 交通の便がいいところが良いです。
- 暖房が使えなかった以外は満足でした
- 予想よりも寒く、部屋の暖房も使えないことが大変でした。
- 少し移動時間が長かったですが、集中して取り組める良い環境だったと思います。
- 風光明媚で自然豊かな場所がいい。空き時間に運動ができる場所がいい
- とても良かった
- 費用は安いとその分利便性が低かった。
- 秋の美瑛はとても寒く、体調をくずしたスタッフも多かった為、学会前(9月上旬)あたりが適切だったかと思います。
- 立地は自然豊かで最高。
- 山奥での開催は集中できて良かったと思います。
- 施設自体に不満はないが、開催場所へのバス移動が長いと思った。バス内で長時間交流できるのは悪くないが、さすがにアレは長いかなと思った。
- もっと美瑛や富良野の街に近くて、夜に飲みにいけるくらいの場所が良かったです。

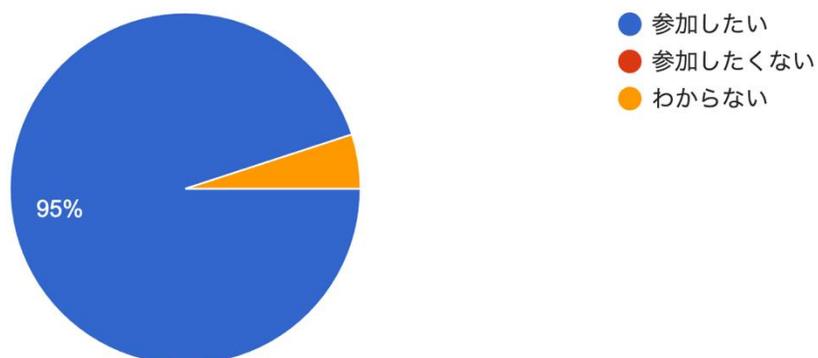
今回の若手秋の学校の「開催日数」について満足度を教えてください。

40件の回答



今後、若手の学校が開催された場合、参加したいですか。

40件の回答



今回の若手秋の学校は、あなたにどのような影響を与えましたか。
学習、進路決定、友人や研究ネットワーク形成などをはじめ、自由に記述してください。

- レベルの高い同期と出会えたことで、研究のモチベーションを上げることができた。
- 自分は若手の研究者という立場ながら、ほとんど学生のような気分で過ごしていたが、修士や学部の学生と接してみると流石にシニアの研究者側にいるのだなと感じた。それなりに教える立場の人間として、また業界にそこそこは長くいる人間としての立ち振る舞いをしなければならないと思った。一方で、自分の専門から外れた話を聞き流す習慣がつきつつあるので、若い学生の学ぶ意欲を見習わなければと思った。
- 普段は関わらない方と親しくなれました。
- 普段あまり交流のない先生方や学生と沢山話をする良い機会になった。
- 博士課程に進学されている方々とお話する機会があり、自分の進路を考えるきっかけにもなりました。
- 異なるコミュニティの研究者と交流できて良かった。交流を通じて、研究の流行についてもキャッチアップできて良かった。
- 講師の研究分野や得意とする研究手法を知ることができた点で今後の研究の参考となった。
- 別班の友人ができました。
- 同期で刺激的な友人に恵まれ、学ぶことが多かった。
- 共同研究に誘うきっかけ作りに非常に良い。
- 様々な方と交流ができて、非常に有意義な時間になりました。
- 参加した学生や講師の方と話す機会を得て、以前より研究活動の楽しさや面白さに触れられた。
- 自分が普段実験で行わない光学系の測定の知識が得られたのがよかったです。
- 共同研究の輪が広がりました
- たくさんの人に質問ができ、大変よい時間を過ごすことができました。
- 友人や研究ネットワークの人脈形成に繋がった。
- バスケの楽しさに目覚めた。他大の友人ができた。
- 同じ物理学を学ぶ同年代の人々と交流ができた
- 色々な分野の人と関わったり、横のつながりも増えたので研究に対するモチベーションがさらに高まった。
- 物理の学習へのモチベーションが向上した。また、博士課程へ進学するかどうかの参考材料になった。
- 研究仲間を知れたことがよかった。
- 講師の先生方はもとより、同じ釜の飯を食べ、同じ風呂に入ることで、領域内のメンバーとの親睦が深まりました。
- 研究ネットワークとして、北大を中心とした研究者・院生との議論の機会が得られた。
- 今まであまり会う機会のなかった、年の近い人たちと交流し、ネットワークを形成できたのが非常に良かった。
- この分野の研究内容に興味を持ってきている若手が多くいることを知ることができ、大変有意義でした。
- 研究ネットワーク形成、多極子の考え方を学ぶ上で大変良い機会となりました。
- 他大学に知り合いができるいい機会になった
- 普段は触れない実験をしている方々と話ができ知見が広まったと思う。
- 若手の知り合いが増えました
- 光電子分光を専門にしているが、光電子分光屋さんではなく、材料設計屋さんになりたいと漠然と考えていた。材料設計とは？新物質を合成する人？新規機能性材料を理論予測する人？（←自分はこれまでこれをイメージしていた。）などいろいろ考えていたが、今回の秋の学校の経験から「様々な交差相関物性の社会実装を意識した、(オペランドなど工夫した)光電子分光を基軸においた、マイクロ物性研究」を自分の研究人生の軸にしようと思った。（いまのところ）
- 領域の近況を把握しました。
- 進路決定に役立ちました。
- 若手研究者、学生との交流を通して、アシンメトリ量子物質に関する研究の展開について考える良い機会になりました。
- 同世代の研究者と長くご一緒でき、共同研究に繋がる話ができた。
- 学会などではなかなか親しく話す機会がないところ、このような機会を設けていただいたことで、物理だけでなく、進路や日常生活に対する価値観を共有することができ、視野を広げられたように感じます。
- 合宿形式の研究会は一緒にいる時間が長く、これまで関わったことのない方とたくさん話すことができネットワーク形成の点でとても有意義でした。
- 普段会うことのない他大学の学生と交流ができたのはとてもいい経験になりました。同期の人々のレベルの高さも感じ、「そこまでの熱意が自分にあるのか？」と、自分の進路についてまじめに再検討するようになりました。

その他、今回の若手秋の学校について、改善が必要と思われる点などありましたら、ご記入ください。
(講義の時間や方式などを含む)

- ・ 講師一人辺りの講義時間がもう少し長いほうが良いと思う。90分講義2回か、60分講義2回にして、前半は基礎で後半は最近のトピックといった目安で開催できればよいと思う。
- ・ 講義の種類が非常に多く、大変勉強になりました。ただ、テーマごとの講義時間が短かったのは残念ですね。120-180分、場合によってはパラレルで実施しても良かったのではと思います。
- ・ 教科書で30ページほどの内容に対して講義時間が90分は短すぎるので(実際誰も時間内に終わっていない)、一人あたりの時間を長めに取った方が良かったと思った。
- ・ ほとんどの講義が不完全燃焼で終わってしまったので、次回がありましたら質問時間を最後にまとめてとる形にさせていただきたいです。
- ・ 時間の関係で研究の基礎の部分しか聞けなかったため、次回からは講義時間を2倍にして前後半で分けて講義をして欲しいです。
- ・ 質問が活発だった事もあり、講義の一部が丸々カットされてしまった事が少し残念だった。もう少し各講義間のバッファがあっても良いかと思った。
- ・ 講師1人あたりの講義時間をもう少し伸ばしてもいいのかなと思った。(大体の講義が予定された内容の半分程度で終わってしまったため。)
- ・ 開催場所の立地や利便性がもう少し良いと参加しやすいと思います。
- ・ 学生自身の研究発表の機会(ポスターセッションやショートトークなど)があった方が良かったと思います。
- ・ 質疑応答を含めると時間が足りない場合がほとんどだったので、テーマを絞る必要があるかもしれないが途中休憩を挟み120分程度の講義としても良いかもしれません。
- ・ 強いて言えば、学生さんも気楽に懇親会ができる環境だと良かったかもしれません。
- ・ 内容も難しく、話を聞きながらテキストに目を通してメモを取ることは、同時並行のタスクが多いので、講師の方のスライドを事前に共有してほしかった。
- ・ 期間が長くなると参加が難しくなる方もいるかと思いますが、テキストの分量に対して講義時間が少なかったという印象があります。質問がどの程度出るかなどで進み具合が大きく変動するかと思いますが、倍の2コマあってもよかったかなと思います。

今後のアシンメトリ量子の領域活動について要望等ありましたら、ご記入ください。

- ・ 今回のように長時間多くの人が集まってそれなりにインフォーマルな雰囲気での議論ができる機会が無いと、他の人の考え方やモチベーションがわからないと思った。普段の研究会でも、質疑応答の時間を長くしたりパネルディスカッションのような機会があればよいと思った。発表15-30分で質疑5分のような構成だと技術的な発表・質問に終始することが多く、物理学会などの他の会議との差別が無いように思う。質疑の時間を15分ほど設けることをデフォルトとして、ときどき発表10-15分質疑30分のような研究会を試してみると良いと思う。
- ・ 共同利用機器について、リスト化して頂きたいです。
- ・ また秋の学校を開催してほしいです。
- ・ 年1か2くらいでまた合宿をやっていただくと嬉しいです。
- ・ 中間報告に向けてがんばっていきましょう。
- ・ 微力ながらも少しでも貢献できればと思います。
- ・ 非常に雰囲気の良い領域だと思いますので、引き続き活発に活動していただけたらと思います。また、他領域との連携も是非お願いします。